

岡山県の災害リスクといざという時の行動

1 地震

大地震の恐怖

- もし大地震が起きたら、日常生活にも大きな影響が予想されます。…最悪の場合

「知らなかった」ではすみません。今から震災に備えましょう。

【水道】
一週間以上使えなくなります。

【下水道(トイレ)】
一週間以上使えなくなります。

【電気】
数日間使えなくなります。

【都市ガス】
一週間以上使えなくなります。

【住まい】
一ヶ月以上使えなくなります。

【スマートフォン、電話】
数日間使えなくなります。

●南海トラフ地震とは

駿河湾から日向灘沖までのプレート同士が接する海底の溝状の地形を形成する区域を「南海トラフ」といいます。この南海トラフ沿いのプレート境界域を震源とする大規模な地震が「南海トラフ地震」です。南海トラフ地震の発生には周期性があり、昭和東南海地震及び昭和南海地震が起きてから約80年が経過していることから、南海トラフにおける次の大規模地震の発生時期が迫っていると言われています。

●南海トラフ巨大地震で想定される県内の被害(最大値)

		地震動により堤防等が機能しなくなる場合	津波が越流すると堤防等が機能しなくなる場合
建物被害(全壊)	津波による	9,470棟	942棟
	津波以外の要因による	12,272棟	12,292棟
死者数(※)	津波による	3,585人	38人
	津波以外の要因による	193人	484人
負傷者数	津波による	709人	178人
	津波以外の要因による	7,369人	

※災害関連死者数(最大1,247人)を含まない値。

岡山県の災害リスクといざという時の行動

地震発生時の行動 (家庭の場合)

※これは一例です。
身の危険を感じたら、
直ちに避難しましょう。

0 緊急地震速報 発表

- テレビやラジオなどで放送されるほか、携帯端末などへ発信されます。



直ちに!



1 頭を守り、 安全確保

- クッションやバッグ等、身近にあるもので頭を守る。
- 机の下などにもぐり、机の脚を持つ。
- あわてて外に飛び出さない。

身近なもので
頭を守り、
揺れが収まるのを
待ちましょう。



5 避難する

- 非常持出品を持って指定の避難場所へ移動する。
- 外へ出る際には落下物に注意する。
- 車は使用しない。
- 落ち着いて、忘れ物がないように注意する。
- 戸締まりをしっかり行う。



2 逃げ道を 確保する

- 揺れが収まったら、ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。
- ガラスの破片等が落ちているので、靴やスリッパを履いて移動する。

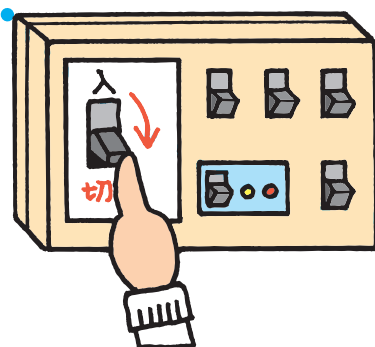


避難する際の注意点

- 事前にハザードマップにより自宅や職場周辺の災害リスクを把握し、避難先への避難経路を確認する。
- 海辺や大きな河川の周辺にいる時は、真っ先に避難を。
- 津波注意報・警報を確認する。
- 津波警報発令中は高台やビルなどの頑丈な建物に避難し、絶対に低地に戻らない。

4 電気の ブレーカーを切る

- 漏電などによる火災を防ぎます。



3 火を止める

- 火を使用中なら、火を消しガスの元栓を閉める。(無理して火を消そうとしない。揺れが収まってから火を消す。)
- 出火していたら、初期消火を行う。

オフィスなどの場合

- コピー機、パソコンなどOA機器や什器などが移動してきたり、倒れたりして危険です。机の下に潜り、頭を守りましょう。
- 地震が収まったら、決められた避難マニュアルに従い行動しましょう。



エレベーターの場合

- 全ての階のボタンを押して、最初に止まった階で降りましょう。
- 閉じ込められたら非常用のインターフォンで連絡しましょう。



市街地の場合

- 窓ガラスや看板などの落下物に気をつけましょう。
- カバンなどで頭を守りながら、安全な場所に移動しましょう。



運転中の場合

- ハザードランプを灯して、ゆっくりと左側に停車しましょう。
- 車から離れるときには、ドアをロックせずにカギを付けたままにしましょう。
- 車検証を持って避難しましょう。

